

著書

1. 神経疾患の評価と理学療法（共著）エンタプライズ, 2004.
2. The Electromyography Research for Physical Therapy and Acupuncture -理学療法・鍼灸治療における筋電図研究のすべて-（共著）アイペック, 2007.
3. 実践 Mook 理学療法プラクティス これだけは知っておきたい脳卒中の障害・病態とその理学療法アプローチ（分担）文光堂, 2008.
4. Physical Therapy for Parkinson Disease -パーキンソン病と理学療法-（監修）アイペック, 2008.
5. 臨床理学療法評価法（共著）エンタプライズ, 2009.
6. Physical Therapy for Shoulder Disorders -肩関節疾患と理学療法-（共著）アイペック, 2009.
7. The Real Physical Therapy -理学療法の現場から-（共著）アイペック, 2010.
8. よくわかる理学療法評価・診断のしかた エビデンスから考える（分担）文光堂, 2012.
9. Relationship Between Excitability of Spinal Motor Neurons in Remote Muscles and Voluntary Movements. "Neurological Physical Therapy", book edited by Toshiaki Suzuki, ISBN 978-953-51-3114-4
10. 運動イメージ・運動観察の脊髄神経機能とリハビリテーションへの応用（編集）編集工房ソシエタス, 2018.
11. 理学療法学テキスト 神経障害理学療法学I 脳血管障害、頭部外傷、背髄損傷（分担）メジカルビュー社, 2019.
12. リハビリテーション神経科学（分担）メジカルビュー社, 2019.
13. Self Training Based on Motion Analysis -動作分析から考える自主トレーニング-（共著）編集工房ソシエタス, 2021.
14. 脳卒中運動学（編集）運動と医学の出版社, 2021.
15. Excitability of spinal motor neurons in the upper extremity during voluntary movement with different difficult tasks in the lower extremity. "Somatosensory and Motor Research", book edited by Toshiaki Suzuki, ISBN 978-1-83962-938-9
16. 神経疾患を学ぶ -評価から理学療法の実践まで-（編集）編集工房ソシエタス, 2022.
17. 理学療法評価を学ぶ -トップダウン評価の神髄に迫る-（編集）編集工房ソシエタス, 2022.
18. Physical Therapy from Case Reports -症例から学ぶ理学療法- 編集工房ソシエタス, 2023.

論文

1. 嘉戸直樹・他: 下肢の随意運動が上肢脊髄神経機能の興奮性に与える影響—脳血管障害片麻痺患者 1 症例における検討—. 関西鍼灸短期大学年報 15: 70-74, 1999.
2. 嘉戸直樹・他: 下肢の随意運動時における上肢脊髄神経機能の興奮性の変化—脳血管障

- 害片麻痺患者及び健常者における検討一. 関西鍼灸短期大学年報 16: 93-97, 2001.
3. 嘉戸直樹・他: 脳血管障害片麻痺患者の下肢随意運動が非麻痺側上肢脊髄神経機能に与える影響. 関西鍼灸大学年報 17: 97-101, 2002.
 4. 嘉戸直樹: 体幹筋群および殿筋群への治療により麻痺側上肢脊髄神経の改善を認めた脳血管障害片麻痺患者の1症例. 関西理学 2: 109-112, 2002.
 5. 嘉戸直樹: 大脳基底核の機能. 関西理学 5: 73-75, 2005.
 6. 嘉戸直樹: 視床の機能とその臨床応用. 関西理学 6: 47-49, 2006.
 7. 嘉戸直樹・他: 運動学習はここまでわかった. 関西理学 8: 49-52, 2008.
 8. Naoki Kado, et al.: Excitability of spinal motor neurons in the contralateral arm during voluntary arm movements of various difficulty levels. *Journal of Physical Therapy Science* 24:949-952, 2012.
 9. 嘉戸直樹: 運動適応と神経筋機能. 関西理学 13: 33-37, 2013.
 10. 嘉戸直樹: 感覚障害に対する運動療法の考え方. 関西理学 14: 33-36, 2014.
 11. 嘉戸直樹・他: 後ろ歩き. 関西理学 15: 29-32, 2015.
 12. 嘉戸直樹・他: 移動動作の解釈. 関西理学 16: 27-29, 2016.
 13. Naoki Kado, et al: Effects of Practicing Difficult Movements of the Unilateral Arm on the Excitability of Spinal Motor Neurons in the Contralateral Arm. *J Nov Physiother* 7:330, 2017.
 14. 嘉戸直樹: 脳血管障害片麻痺患者の上肢の問題を機能障害レベルで考える. 関西理学 21: 39-44, 2021.
 15. 嘉戸直樹: 感覚機能および感覚障害の最新知見と理学療法アプローチへの応用. 理学療法 39: 875-882, 2022.
 16. 嘉戸直樹: 上肢の機能障害を改善するための工夫 -中枢神経疾患を中心に-. 関西理学 22: 8-11, 2022.
 17. 嘉戸直樹: 代償動作を評価で見破る. 関西理学 23: 15-16, 2023.

学会発表

1. 感覚障害に対するアプローチにより歩行能力が改善した痙性片麻痺の一症例 第9回三重県理学療法士学会 (1998, 三重)
2. 下肢の随意運動が上肢脊髄神経機能の興奮性に与える影響 第11回三重県理学療法士学会 (2000, 三重)
3. The relationship between the spinal neuron function of affected arm and voluntary movement of the leg in a patient with cerebrovascular disease. 7th Asian Confederation for Physical Therapy Congress (MAKATI, PHILIPPINES, 2000)
4. 下肢の随意運動時における上肢脊髄神経機能の変化 一脳血管障害片麻痺患者及び健常者における検討一 第16回東海北陸理学療法士学会 (2000, 愛知)
5. 脳血管障害片麻痺患者における下肢随意運動時の非麻痺側上肢脊髄神経機能の変化 第17回東海北陸理学療法士学会 (2001, 石川)

6. 体幹筋群および殿筋群への治療により麻痺側上肢脊髄神経の改善を認めた脳血管障害片麻痺患者の1症例 第13回三重県理学療法士学会 (2001, 三重)
7. H-reflex from unaffected hand muscle in hemiparesis during straight leg raising. 14th Congress of International Society of Electrophysiology and Kinesiology (VIENNA, AUSTRIA, 2002)
8. THE RELATIONSHIP BETWEEN THE SPINAL NEURAL FUNCTION OF UNAFFECTED ARM AND HOLDING THE POSITION OF THE LEG IN PATIENTS WITH CEREBROVASCULAR DISEASE. 14th International Congress of World Confederation for Physical Therapy (BARCELONA, SPAIN. 2003)
9. 座位での下肢随意運動が上肢脊髄神経機能に与える影響—F波による検討— 第46回近畿理学療法学会 (2006, 奈良)
10. 下肢の課題内容の違いが上肢脊髄神経機能に与える影響 第42回日本理学療法学会 (2007, 新潟)
11. 座位での下肢運動課題の困難度の変化が上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響 第47回近畿理学療法学会 (2007, 京都)
12. 立位における下肢運動課題の困難度の相違が上肢脊髄神経機能に及ぼす影響 第43回日本理学療法学会 (2008, 福岡)
13. 困難度の異なる下肢運動課題実施後における上肢脊髄神経機能の興奮性の変化 第48回近畿理学療法学会 (2008, 大阪)
14. 困難度の異なる下肢運動課題実施後における上肢脊髄神経機能の興奮性の経時的変化 第44回日本理学療法学会 (2009, 東京)
15. 手指対立運動が対側上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響 第45回日本理学療法学会 (2010, 岐阜)
16. 困難度の異なる上肢の随意運動が対側上肢脊髄神経機能に及ぼす影響 第46回日本理学療法学会 (2011, 宮崎)
17. 難度の異なる上肢随意運動後における対側上肢脊髄神経機能の興奮性の変化 第47回日本理学療法学会 (2012, 兵庫)
18. 上肢随意運動の適応学習の過程における対側上肢脊髄神経機能の興奮性の変化 第48回日本理学療法学会 (2013, 愛知)
19. 一側上肢の精緻な運動の学習が対側上肢脊髄神経機能への促通効果に及ぼす影響 第49回日本理学療法学会 (2014, 神奈川)
20. 姿勢変化が一側の握り動作による対側上肢脊髄神経機能への促通効果に及ぼす影響 第50回日本理学療法学会 (2015, 東京)
21. 複雑な手の運動の練習が脊髄神経機能に及ぼす影響 第53回日本リハビリテーション医学会学会 (2016, 京都)
22. 複雑さの異なる手の動作練習が上肢脊髄神経機能に及ぼす影響 第46回日本臨床神経生理学会学会 (2016, 福島)

23. 手の動作練習後の脊髄運動ニューロンの興奮性と動作能力との関係 第 47 回日本臨床神経生理学会学術大会 (2017, 神奈川)
24. 姿勢変化と一側握り動作による対側上肢脊髄神経機能への促通効果との関係 第 48 回日本臨床神経生理学会学術大会 (2018, 東京)
25. Influences of Practice of Simple and Complex Hand Movement on Excitability of Spinal Motor Neurons. 13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress (KOBE, JAPAN, 2019)
26. 一側手の運動練習と対側の上肢脊髄神経機能との関係. 第 49 回日本臨床神経生理学会学術大会 (2019, 福島)
27. 下肢随意運動時における上肢脊髄前角細胞への影響の左右差 第 50 回日本臨床神経生理学会学術大会 (2020, 京都)
28. Relationship between spinal motor neuron excitability in the upper limbs and voluntary movement with different difficult tasks performed with the lower limbs. XXIII ISEK Virtual Congress (JAPAN, 2020)

シンポジウム

1. 高次脳機能障害－評価と治療について－ 平成 14 年度三重県 PT・OT 合同研修会 (2002, 三重)
2. F 波からみた運動療法への展開 「F 波からみた一側肢の運動が対側肢へ及ぼす影響」 第 50 回日本臨床神経生理学会学術大会 (2020, 京都)